PB16 キャブレターキット　取扱説明書

製品番号	03-05-0116（キャブレターキット） 03-02-029 （マニホールドキット）

適応車種及びフレーム番号	スーパーカブ 50 （12V）	(C50-0200001 ～ 0999999) (C50-2100001 ～ 2299999) (AA01-1000001 ～ 1699999)
	リトルカブ 50	(C50-4300001 ～) (AA01-3000001 ～ 3999999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品のキャブレターは、下記の状態で出荷しております。使用部品に応じたセッティングをする必要があります。個々のエンジンに合ったセッティングを行って下さい。
◎当製品は、S ステージ専用です。（ノーマルシリンダーヘッド）
◎上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
◎この取扱説明書の取り付け要領は、スタンダードモデルをベースに記載しています。
　キャブレターヒーター付の車両の場合、キャブレターヒーターは使用出来ません。キャブレターヒーター付の車両の場合、コードを絶縁して頂き支障の無い場所に配線をまとめ、クランプして対応して下さい。
◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
　取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要となる工具等をお持ちで無い場合、取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎型式 BA-AA01 の車両に当製品を取付け、一般公道で使用する場合、道路運送車両法の保安基準により、ブローバイガスの返却が義務付けされています。
　型式 BA-AA01 の車両で公道走行される場合、ノーマル同様にストレージタンクからのブリーザーパイプを返却接続してご使用下さい。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

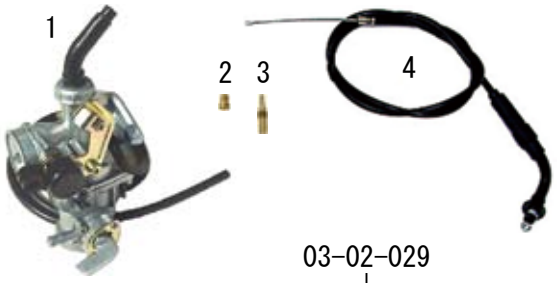
⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

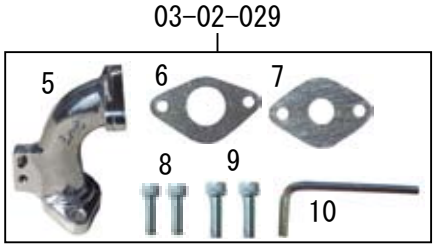
■技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
■走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行って下さい。（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
■エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■取り付け作業は、車両を安定させた状態で行って下さい。（車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■ガソリンは。非常に引火しやすい為、一切の火気を避け近くに危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
　但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
　なお、レース等ご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容





番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	キャブレター ASSY.	1	03-03-0073
2	メインジェット #90	1	00-03-0043
3	スロージェット #38	1	00-03-0179
4	スロットルケーブル COMP. 710mm	1	09-02-0071
＊5	インテークマニホールド	1	――――
＊6	インレットパイプガスケット	1	16229-GEY-T01
＊7	インテークマニホールドガスケット	1	91301-181-T01
＊8	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0043（10ケ入り）
＊9	ソケットキャップスクリュー 6x22	2	00-00-0620（10ケ入り）
＊10	L レンチ 5mm	1	――――

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#75
スロージェット	#35
スロットルバルブ	A87
エアスクリューオープニング	1回転戻し

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
＊印は、マニホールドキットのキット内容を示しています。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

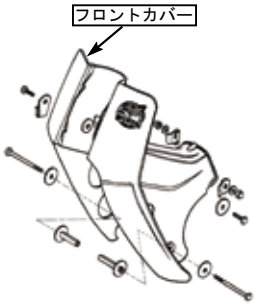
各モデルにより仕様が異なるので、適応車種に合った純正サービスマニュアルを参照し、各パーツの取り外しを行って下さい。

セット内容を、ご確認下さい。

（取り付け準備）

⚠ 注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事。
車両を安定させる事。

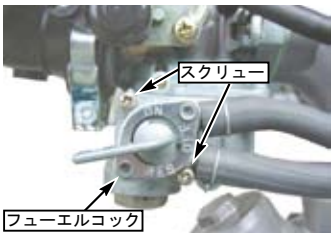
1. フロントカバーを固定しているボルト4本と、ナット2本を外しフロントカバーを取り外します。



2. フューエルコックが閉じてある事を確認してキャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。

⚠ 警告：ガソリンの取り扱いには、十分注意する事。

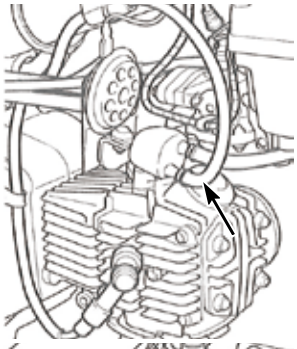
3. フューエルコックを止めているパンスクリューを緩めフューエルコックを取り外します。

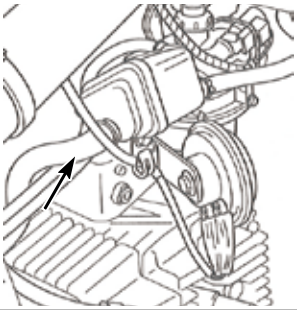


4. 大気ホースをフレームから抜き取ります。

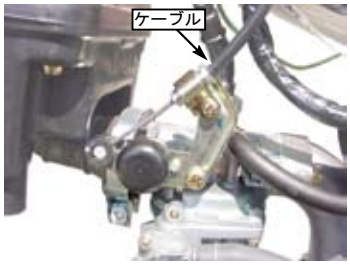
型式：BA-AA01 の車両の場合

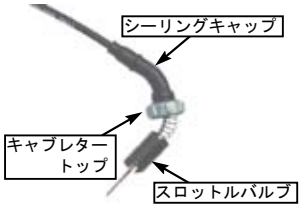
ストレージタンクにつながるブリーザーホースを抜き取ります。
※車両により形式が異なるので、下図を参照し抜き取る。



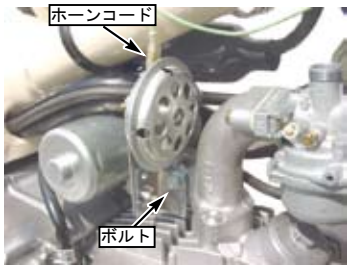


5. キャブレターよりチョークケーブルを取り外します。キャブレタートップを緩め、スロットルバルブを抜き取りスプリングを圧縮しながらスロットルケーブルを外します。スロットルケーブルに残っているシーリングキャップとキャブレタートップを外します。

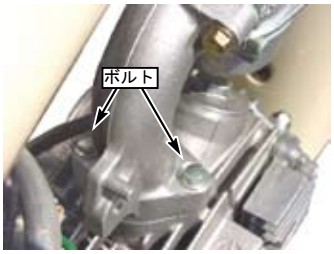




6. ホーンの端子を外し、フューエルチューブクランパーごとホーンCOMP. を取り外します。



7. エアクリーナーコネクティングチューブバンドのスクリューを緩め、シリンダーヘッド側インレットパイプのボルトを外しキャブレターとインレットパイプを一体で外します。
※インテークポートに異物が入らないように注意して下さい。



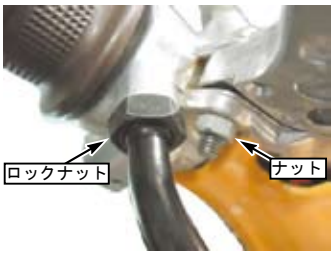
8. 取り外した部品を袋等に入れ保管します。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

（取り付け）

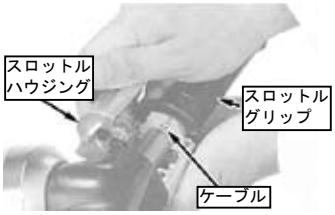
⚠ 注意：トルクレンチを用意し規定トルクを必ず守る事。

1. ダストカバーをブレーキレバーから外し、スクリュー、ナットを外し、ブレーキレバーを外し、ケーブルの接続を外します。
2. スロットルケーブルのロックナットを緩めます。

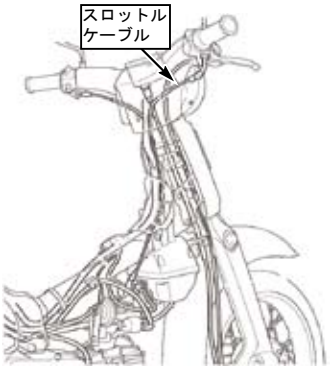


3. スロットルハウジングの 2 本のスクリューを外します。

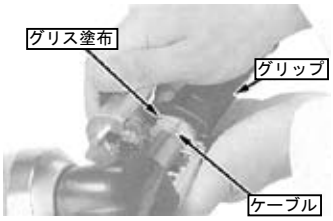
4. スロットルハウジングを分割し、スロットルグリップからスロットルケーブルの接続を外します。
5. ロア側のスロットルハウジングからノーマルのスロットルケーブルを外します。



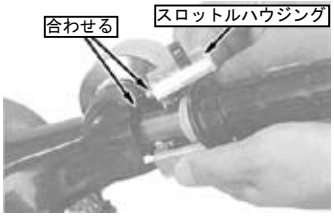
6. キット内のスロットルケーブルをノーマルのスロットルケーブル同様に取り回しを行います。
7. ロア側のスロットルハウジングに取り回しを行ったキットのスロットルケーブルを取り付けます。



8. スロットルグリップフランジ部のケーブル巻き取り部にグリスを塗布し、スロットルグリップにケーブルを接続します。



9. スロットルハウジングの突起部をハンドルバーの合わせ部に合わせ、取り付けます。



10. スロットルハウジングの 2 本のスクリューを取り付け、前方のスクリューを締め付けた後、後方のスクリューを締め付けます。

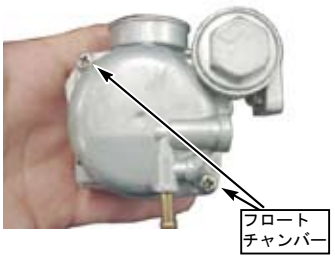
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：4.2N・m（0.4kgf・m）

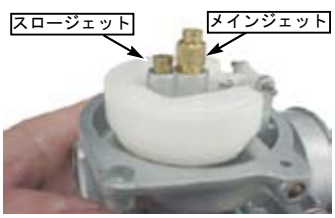
11. ブレーキレバーにブレーキケーブルを接続し、ブレーキレバーを取り付け、スクリューを締め付けた後ナットを締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：1N・m（0.1kgf・m）
ナット
トルク：5.5N・m（0.6kgf・m）

12. スロットケーブルの位置を調整し、ロックナットを締め付けます。

13. PB16 キャブレターのフロートチャンバーを外し、 付属のメインジェット #90 とスロージェット #38 に交換してフロートチャンバーを元通りに取り付けます。





14. キャブレターとキット内のインテークマニホールドでインレットパイプガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー 6x22 で取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

15. インテークマニホールドにフューエルチューブクランパーをノーマルのボルトを使用して取り付け、規定トルクで締め付けます。

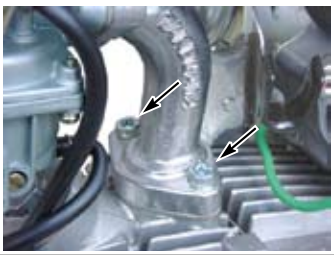
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ノーマルボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

型式：BA-AA01 の車両の場合

インテークマニホールドに、フューエルチューブクランパー及びストレージタンクが付いているブリーザーセパレーターステーを取り付け、ストレージタンクとキャブレターが干渉の無い様位置を調整しストレージタンクを固定します。

16. PB16 キャブレターのトップカバーを外しスロットルバルブスプリング、スロットルバルブを取り外します。
スロットルケーブルにキャブレタートップを取り付けスロットルバルブスプリングを圧縮した状態でインナーケーブルをスロットルバルブに取り付けます。
17. シリンダーヘッドにインテークマニホールドガスケット、 インテークマニホールドの順に取り付けソケットキャップスクリュー 6x20 を規定トルクで締め付けます。

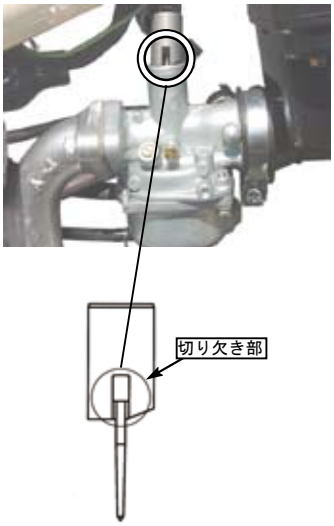
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



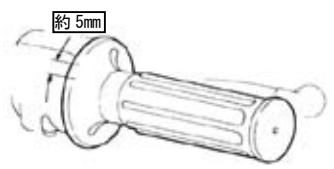
■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

18. エアクリーナーコネクティングチューブバンドのスクリューを締めます。
チョークケーブルを取り付け、スクリューを締め付けます。

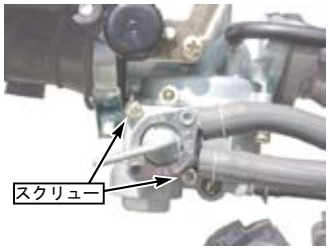
19. スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。



20. スロットルグリップ部で 5㎜ 程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。
スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。
※ステアリングを左右にいっぱい切った状態でスロットルに遊びがある事を確認して下さい。

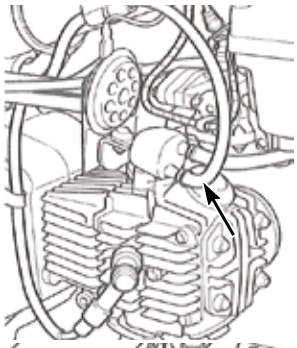


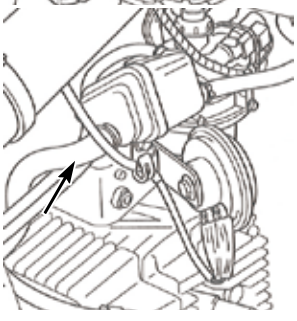
21. PB16 のフューエルコックを外し、ノーマルのフューエルコックをキャブレターに取り付けます。
ホーンにコードを接続します。



22. 大気ホースをフレームに差し込みます。

型式：BA-AA01 の車両の場合
ストレージタンクにブリーザーホースを取り付けます。

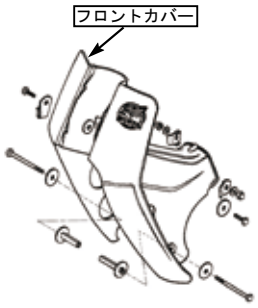




23. フューエルコックを ON にし、各部からのガソリン漏れの有無を確認します。
（コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。）
問題がなければ、チョークレバーを引きエンジンを始動させ各部からの吸気漏れの有無を確認します。
チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。
エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

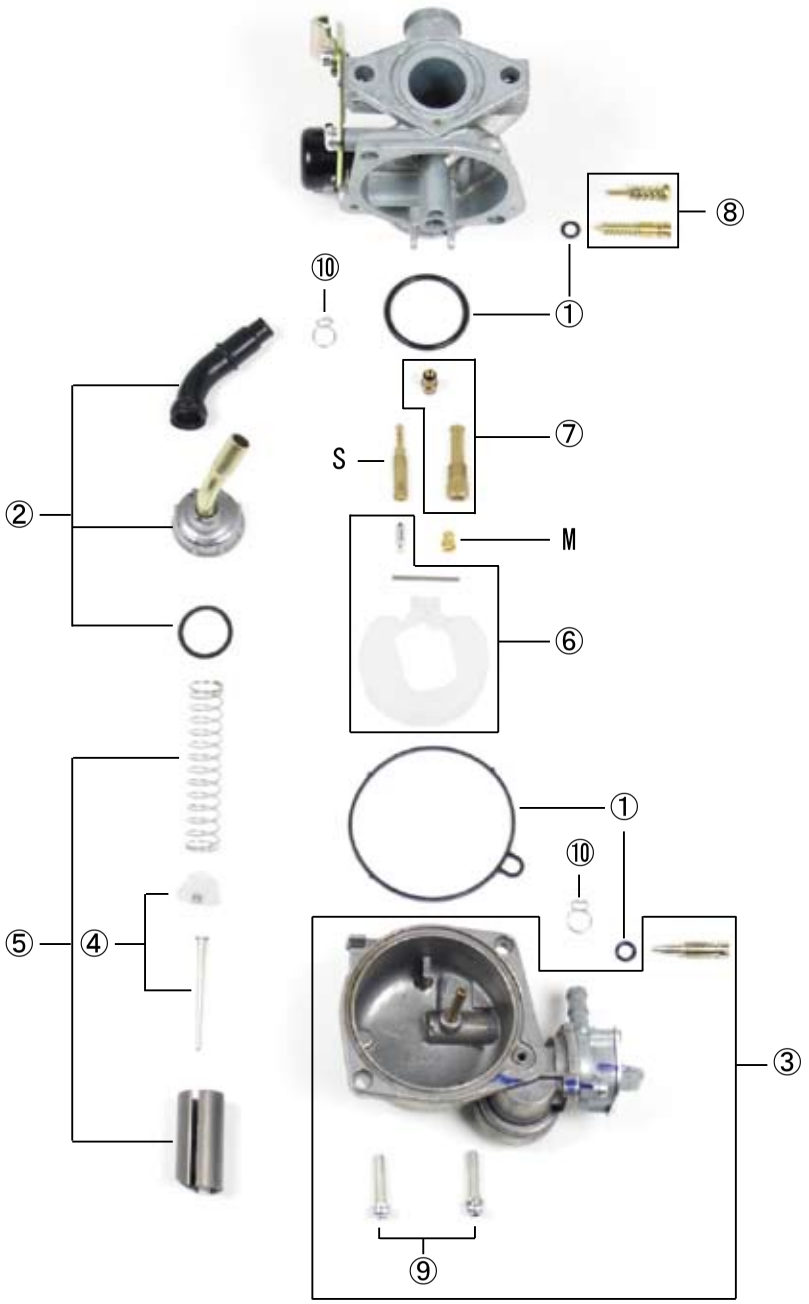
⚠ 警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行う事。

24. フロントカバーを取り付けます。



25. 安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

■ KEIHIN PB16 キャブレター ASSY. リペア及びセッティングパーツ各種



■リペアパーツ

見出番号	部品番号	部品名	使用個数
1	00-03-0378	パッキンセット	1set
2	00-03-0379	トップキャップセット	1
3	00-03-0380	フロートチャンバーセット	1
4	00-03-0381	ジェットニードルセット	1
5	00-03-0382	スロットルバルブセット	1
6	00-03-0383	フロートセット	1
7	00-03-0384	ニードルジェットセット	1set
8	00-03-0385	スクリューセット（エアー・スロットル）	1set
9	00-03-0386	スクリュー	2
10	00-03-0376	クリップセット	1set

■ KEIHIN PB16 キャブレター ASSY.
03-03-0073

■セッティングパーツ

見出表示：S　スロージェット

品番	スロージェット番数
00-03-0179	#38
00-03-0180	#40
00-03-0181	#42

見出表示：M　メインジェット

品番	メインジェット番数
00-03-0040	# 80
00-03-0041	# 85
00-03-0042	# 88
00-03-0043	# 90
00-03-0044	# 95
00-03-0035	#100
00-03-0036	#105
00-03-0037	#110
00-03-0038	#115

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの 2 つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○メインジェット (スロットル開度 3/4-4/4)

・この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
・仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○スロージェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

・エアスクリューの戻し量 3.0 回転以上の場合は、スロージェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、スロージェットを大きくして下さい。
スロージェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、スロージェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
・排気が濃く排気音が重い場合、スロージェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
・スロージェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドリング時)
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（1.5 回転）に合わせ、左右に 1/4-1/2 回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp